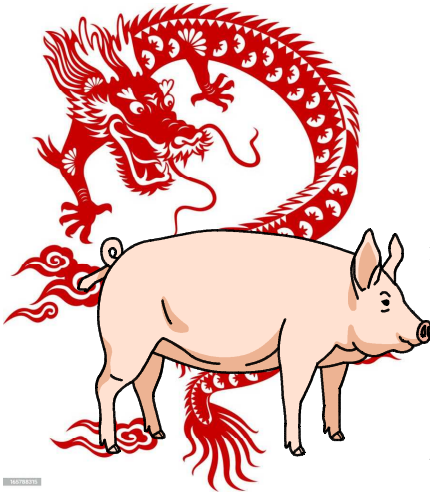




日章学園九州国際高等学校校長便り 如月
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
学園スローガン：**自分を磨け**
学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和6年(2024年)2月1日(木) 校長 屋田伸仁



一竜一猪

今年、辰年で、先月の学校だよりでは、「**伏竜鳳雛**」を紹介しました。今月は、「**一竜一猪**」を紹介します。読み方は、「いちりょういっちょ」です。竜は2通りの読み方があります。「りゅう」と「りょう」です。りゅうは訓読み、りょうは音読みです。「竜」一語だと、「りゅう」と読み、二語の熟語では、「りょう」と読みます。**坂本竜馬**がそうです。さて、猪ですが、これは、日本の干支では、「いのしし」ですが、中国では「ぶた」です。「竜」は賢く、成功した者の例えで、「猪」(豚)は、無恥な愚か者の例えです。この四字熟語の意味は、**努力して学ぶものは竜になり、怠けて学ばないものは豚になる。**

賢愚の差が出る。つまり、**毎日、努力し続けることの大切さ**を表しています。数字で例えてみましょう。前の日の**1.01倍**の努力を1年間続けると、**1.01の365乗は37.8(倍)**になります。一方、前の日よりちょっとさぼって、**0.99倍**の努力しかしないと、1年では、**0.99の365乗は0.03(倍)**になります。その差は、なんと**1000倍以上**になります。毎日、必死にいっぱい、がんばらなくてもいいのです。**1.01倍**の少しの努力を毎日続けることが大切なのです。

今年の学園スローガンは、「**自分を磨け**」です。昨日の自分よりも今日の自分、今日の自分よりも明日の自分と、少しずつ、少しずつ自分磨きを続けていくと、1年後は、大きな夢や目標を達成した自分に出会えます。生徒の皆さん、自分を磨いて、みんなで**未来に燦然と輝く竜**になりましょう。

Improve myself! GO!

「**自分を磨け**」の「磨く」を英語で表現すると、**ブラッシュアップ**が真っ先に思い浮かびますが、これはどうやら和製英語(カタカナ英語)らしい。英語の **Brush up** には物を磨く意味はありますが、心や人格を磨く意味はないので、英語表記には気を付けたい。では、英語で心や人格を磨くを表す単語は何かあるか。辞書で調べると、**Improve** がふさわしいと出ていました。今後、「**自分を磨け**」の英訳を **Improve myself!** と表記したい。



私が中学2年生の頃、社会科の女性の先生から歴史を教わって、印象に残っていることがあります。授業中、先生が、「日本の歴史の中で、自分がもし生まれ変われるとしたら、平安時代に生まれたい。」と言われました。平安時代は平和な時代が長く続いて、しかも女性の地位も高まったというのが、理由でした。現在、NHK大河ドラマで、「**光る君へ**」が放映されています。主人公は、**紫式部**で、世界最大最古の小説『**源氏物語**』の作者です。

『**源氏物語**』以外にも、世界で初めてのエッセイ集『**枕草子**』が生まれ、女流日記文学や歌集もたくさん生まれました。世界に誇る高い女性文化を築いたのが、平安時代です。女性達は華やかな宮中生活を繰り広げ、歌合せに興じたりしながら、自分の感性や教養力を磨いていったものと想像できます。

本校では、**五色百人一首**を授業で取り入れています。日本の伝統文化への関心を高め、自分の古典力を更に**ブラッシュアップ**してほしいです。

